

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

諸上 栄大

| | | | |
|------------|--|-----------------|-----------|
| 開催月日 | 令和5年2月13日(月) | | |
| 開催時間 | 13時～17時 | | |
| 開催場所 | 茨城県境町役場 4回会議室および、遠隔監視センター | | |
| 主催者 | 茨城県境町役場 | | |
| 研修会等の名称 | 境町が進める地方創生について(自動運転バス運行) | | |
| 講師等の氏名等 | 境町町長 橋本正裕 氏 | | |
| 内容・結果等 | 【目的】 当市において協議、検討されている未来技術地域実装事業一つである自動運転モビリティ導入計画について、2020年11月より自動運転バスの運行を先駆的に取り組まれている茨城県境町で取り組みまでの課題等を含めて研修及び、視察をおこなった。 | | |
| | 【内容】境町で実施されている自動運転バスは2020年11月に第1ルートを、翌年8月に第2ルートの運行が開始された。総運行距離約14kmを時速20kmで走行し、現在まで事故等の問題はない。 | | |
| | しかし、運用開始当初は渋滞に伴う無理な追い越しなどがみられ、バス停の位置を変更する等の工夫を行ったとの事。また、常時運行状況を監視する、遠隔監視センターが町内にあり、トラブルが発生した場合に現場に駆け付けるシステムも構築されていた。利用料は無料でふるさと | | |
| | 応援寄附金と補助金を積極的に活用されていた。町内の主要な商店など近くにバス停を設けるなどの工夫により、買い物支援の一環としての利用も高く、年間約5,300人の利用者の状況であった。 | | |
| | 【まとめ・感想】 今回先駆的に取り組まれている境町の状況を伺ったが、自動運転バスのコース設定等の工夫がみられた。嬉野市における運行計画では、幹線道路の通行に伴い多数の交差点があること等、時速20km走行の自動運転車両の導入までには、かなりの協議検討や市民の理解を要するすると思う。しかしながら、使い方によっては市民の移動手段として十分に活用でき、また、話題性のある観光コンテンツの1つとなりうる。今後の実装実験等の事業には注視していきたい。 | | |
| | 経 費 の 内 容 | 支 払 先 | 金 額 (円) |
| | 旅費・宿泊費 | 祐徳旅行株式会社(宿泊パック) | 41,350 |
| | 旅費(都内～境町) | 東京モノレール、JR他 | 7,320 |
| | | | |
| | 合 計 | | 48,670 |
| 上記活動に要した経費 | | | |